

Taka Gikai



多可町議会だより

2024年（令和6年）8月1日 第75号

山田錦を日本農業遺産に

みんなで育む物語

6月定例会

- ・議員と気軽に語る会 ▶2
- ・ここが聞きたい 13人が一般質問 ▶9

多可町の未来を

共に創る

議員と
気軽に
語る会

企業誘致

6月13日（木）グリーンプラザ



- 子育てするならダントツ多可町というなら給食費、医療費を無償化にする対策が必要。
- 企業誘致のために工業団地を造るべき。
- 高速道路がない。播但道とのアクセスや但馬との流通が生まれる工夫を。
- 今の報酬では難しいが若い議員が誕生してほしい。

農業後継者問題

6月7日（金）かみ総合福祉センター

- 不登校の親の負担を無くす対策やフリースクールへの支援を。
- 農業の後継者問題、10年後を見据えて取り組みが必要。
- ちょっと便利な田舎をもっとアピール。
- 議会は定数を削減して報酬を倍にしたら、なり手不足は解消する。
- 多可高校は地域に必要、中高連携校にして生徒を増やす。



議員定数削減

6月20日（木）那珂ふれあい館



- 杉原川の堤防の草刈りが広範囲で負担が大きい。町道の法面の草刈りも高齢化でできなくなっている。
- 議員定数の削減の議論は進んでいるのか。議会を土日や祝日、夜に開催したら。
- 2050年には人口が半分になるから、箱モノの削減を。
- 人口減少で集落の維持、運営が難しい。

少子化対策

6月17日（月）中プラザ

- 村づくりに若者の参加が少なく、消防団とも重なり負担が大きい。
- 農業の後継者問題が深刻で、抜本的な改革が必要。地域計画を作成しているが面積が少ない。
- 長男がUターンして家を建てようとしても農地転用が難しいので、柔軟な対応をしてほしい。
- 少子化対策に企業誘致は絶対に必要。



～少子化、人口減少、企業誘致、農業の未来… 熱い議論と活発な意見交換～

5月16日から7月5日まで、多可町議会は「これからのむらづくり」をテーマとした意見交換会、議員と気軽に語る会を12回開催しました。町内各地で開催された意見交換会には、多くの住民にご参加いただき、議員と活発な意見交換をしました。

若者の流出を防げ

5月24日（金）なごみの里 山都

- 子育てするならダントツ多可町というなら、0～2歳児の保育料を無償化にするべき。
- 若者の流出を防ぐため、企業誘致を進め、働く場所の確保を。
- 町からのむらづくり予算が少なく、集落活動に影響が出ている。



子育て世代にもっと援助を

5月16日（木）八千代プラザ



- 子育て世代に対して行政の援助が少ない。この世代は多くの情報を持っているので行政は上手に活用すべき。
- 出生数が著しく少ないので小中一貫校を考えるべきではないか。
- 高齢者の健康増進の取り組みが必要。
- 八千代区の道路整備が遅れている。

空き家対策・農業協力隊

5月30日（木）八千代診療所

- 空き家が増える中で相続放棄や危険空き家対策はどうするのか。
- 農業協力隊を立ち上げ、農家の支援や放棄田対策に生かせ。
- バスの増便や移動販売車の充実で高齢者の買い物支援を。
- ガルテン八千代を整備して、他地域とのスポーツ交流の促進が必要。



女性の活躍・議員報酬

7月5日（金）交流会館



- 女性リーダーの育成や女性が活躍できるように考えて。
- 議員報酬が低すぎるから、なり手不足になる。もっと報酬を上げるべき。
- 障がい者も安心して暮らせる村づくりを。
- 消防団の実態を調査して、今後の運営を考えてほしい。
- 婦人会、青年団などがなくなり集落役員に負担がかかっている。

若い人が議員になれる環境を

6月28日（金）加美プラザ

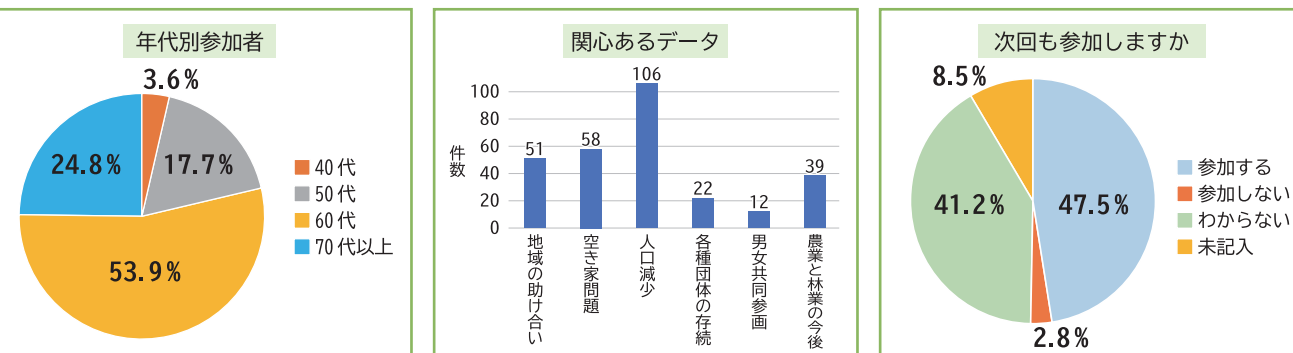
- 加美中学校を使えば50億円もかからない。
- 議会傍聴をPRしているが、議員の一般質問の内容も広報すべき。
- TAKAFesに関わって、多可町でもこんなことができると感じた。新しい事業をやっていくべき。
- 若い人が議員になれる環境を整えて。



参加人数は全体で167人です。12カ所での意見交換会ではアンケートもとっています。年代や関心のあるテーマ、また意見交換会をしたら参加しますかなどです。

年代は60代がもっとも多く半数以上を占めています。テーマでは人口減少や空き家問題などに関心がありました。「次回も参加しますか」の問いには、約半数が参加すると記入されています。

議会では人口減少問題だけでなく、身近な課題で意見交換会を続けていきます。



アンケートで頂いた自由意見

- いまあるものを活用してほしい。
- 住民が住みやすい町づくりを考えて。
- 今後の課題解決に向けてビジョンを。
- 小中一貫校を考える時。
- 将来図を描いた活気ある議会に。
- 若い人が議員になれる体制づくりを。
- 人口減少に見合った議員定数と多選禁止。
- 議会の半数は女性議員に。
- 年に2回は意見交換会を開催して。

意見交換会では、多岐にわたる貴重なご意見をいただきました。

① 少子化問題・人口減少対策

- ・子育て支援の充実
- ・教育環境の整備
- ・移住・定住促進
- ・地域活性化

② 産業振興

- ・企業誘致
- ・農業振興
- ・観光業の振興

③ その他

- ・議員定数削減
- ・女性の活躍
- ・防災・減災対策強化
- ・福祉サービスの充実
- ・多可町の発展は、住民一人ひとりの力で築かれていきます。
- ・多可町議会は、今後も住民と協働しながら、持続可能な町の実現に向け、政策提言を続けていきます。

意見交換会を終え、議会が目指すのは

町政に生かします 皆さんの声

消滅可能性自治体からの脱却

6月27日（木）アスパル



- 人口減少で消防団の活動が制約される。
- 消滅可能性自治体からの脱却、人口増を考えよ。
- 高校生の遠距離のバス通学補助を。
- 道路インフラ整備をして滝野社インターへつなげる取り組みを急げ。
- 山田錦発祥の町だけでは生きていけない。地場産業の育成を。

町営住宅入居の柔軟な対応

6月21日（金）かみ総合福祉センター

- コロナ禍で生活習慣が変わり、村芝居やお祭りができなくなった。やめるのは簡単だが、続けていくことは難しい。
- 議員定数を一人か二人削減しては。
- 町営住宅に空きがあるのに、所得要件で若い人が町外に出ていく。もっと柔軟な対応をしてほしい。
- なんでも中区にというのはどうか。
- 子育てにお金がかかりすぎる。



婦人会組織の復活・空き施設の跡地活用

6月24日（月）中安田公民館

- 余暇村公園をリニューアルして小野市のひまわり公園のようにしては。
- 婦人会組織を復活することを考えたかどうか。
- 八千代北小の問題が知りたい。地元と役場、議会とがギクシャクしているのでは。
- 議員がむらづくりの案を最初に示してから意見交換をすべき。
- あすみるや多可中学校を建設して空き施設ができるが、跡地の効率的な使用計画はあるのか。
- 議会改革、議員のレベルアップに尽きる。
- 少子高齢化が進んでいく。村役員のなり手もない。



笑顔ひろがるみんなの ふれあいセンターへ



きれいに舗装します
ー子育てふれあいセンターー

工事請負
子どもたちが待っています
子育て
ふれあいセンター
改修工事
1億5730万円
業者名 交陽工業株式会社
工事期間 令和6年6月21日～令和7年2月28日

Q 改修工事の内容は、老朽化した子育てふれあいセンターの建物や園庭をリニューアルします。
A 建物内ではなかよしひろばのフロアリング改修、壁のクロスの張替え、ウッドデッキの改修などです。園庭ではブランコや複合遊具を設置します。また砂場の改修、芝生の張替えなどをします。現在砂利の駐車場をアスファルト舗装にします。

Q 全館休館にして工事をするのですか。
A 休館はしません。毎日すべての部屋を使っているわけではないので、空いている部屋を順番に使います。小さい子どもたちも大勢来ますので、安全には細心の注意を払って工事を進めます。

Q 生涯学習まちづくりプラザ（あすみる）との連携はどうなるのですか。
A 子育てふれあいセンターのあすみる側の外壁がなくなるので、一体化して自由に行けるようになります。

Q 子育てふれあいセンターの愛称は。
A 「ココミル」です。利用する親子が覚えやすく呼びやすい愛称に決まりました。

快適な施設に 八千代 コミュニティプラザ 空調設備入替工事 2948万円
業者名 旭設備株式会社
工事期間 令和6年6月21日～令和7年2月28日

Q すぐに工事に入りますか。
A 涼しくなる10月の中旬頃を考えています。

Q 休館することがありますか。
A その可能性もありますが、利用者に不便をかけないよう、また安全をしっかり確保して工事をします。



八千代コミュニティプラザ

条例 国保税値上げ！
県から示された標準保険税率を参考に、6年度保険税率を設定します。
合わせて地方税法改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額の引き上げなどの改正をします。

Q 税率の引き上げが急激な負担増になりませんか。
A 急激な負担増を避けるため、基金から7627万円を使います。

Q 来年も値上げになるのですか。
A 2年に一度の見直しなので、来年は同様の税率です。

あなたの健康と暮らしを応援 6月補正 6月 議会

令和6年6月4日から6月21日までの18日間の日程で、第126回多可町議会定例会が開催されました。
定例会では、ワクチン接種補助、コミュニティ助成事業などの補正予算や、国民健康保険税の課税限度額の引き上げなどの条例改正案が提出されました。その他子育てふれあいセンター改修工事契約を含む28案件が上程され、慎重審査の結果、全ての議案を可決しました。

発症予防を 推進！

帯状疱疹ワクチン
接種へ支援
140万円

帯状疱疹は、生涯で30%の人が罹患する疾患です。発症率は50歳代から上昇します。治療後に過酷な神経痛も危惧されます。ワクチン接種に補助します。

Q 接種対象者は何歳以上ですか。
A 満50歳以上です。
Q 料金と接種回数はいくらか。
A 生ワクチンは8千円程度で、接種回数は1回です。不活化ワクチンは2万円以上で、2回接種します。

Q 補助額はいくらか。
A ワクチンの種類に関わらず、1人1回限り、4千円を補助します。

自前で守る 安全

自主防災組織育成に 補助金 190万円
自主防災組織は、住民の安全、コミュニティの活性化など重要な役割を担っています。宝くじ交付金を活用して、自主防災組織の防災力を向上します。

田舎暮らし
農園施設に補助金 150万円
移住・二地域居住で「楽農生活」を始められる人を応援し、農園などの整備にかかる経費を支援します。



6月補正予算		6月補正予算	
歳出	款	6月	補正後の額
一般会計	議会費	55万円	1億3万円
	総務費	5229万円	59億2290万円
	民生費	499万円	33億3248万円
	衛生費	216万円	10億2026万円
	農林水産業費	▲5億1629万円	12億5434万円
	商工費	172万円	3億509万円
	土木費	1405万円	10億2716万円
	消防費	▲560万円	5億4771万円
	教育費	▲403万円	10億615万円
	歳出合計	▲4億5016万円	162億5384万円
特別会計		969万円	63億3799万円
公営企業会計		25万円	36億1637万円

※予算金額は補正のあった科目のみです。
合計は現予算の総計です。

議会は提言する
少子化に歯止めがかからず、危機意識を持ちつつ、多可町も未来に向けて歩んでいます。財政の厳しい状況の中ですが、地域経済の振興と持続可能な成長を目指さなければなりません。
地域の活性化に向けて、産業の育成や地域資源の活用、観光の振興などに注力します。同時に、住民の安心と安全を守るため、福祉や医療、教育などの充実にも取り組みます。
多可町議会では地域の魅力を最大限に引き出すために、コミュニティの結束を強化し、意見交換会など住民参加型の政策づくりを推進し、より豊かな未来へと歩む努力をします。

議会だよりでは、紙面の都合上、1人1問の質問と答弁を要約して掲載しています。

ここが聞きたい!!

議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに町長と教育長に方針を問います。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。
熱気あふれる発言の数々は本会議場でお聞きください。
傍聴をお待ちしています。

全文は多可町議会ホームページを検索



臨時会

一般質問

質問議員	質 問 趣 旨	掲載ページ
大山由郎	高齢者の孤独・孤立対策を急げ	10
門脇教蔵	道路白線整備の対応は	
	自治体「消滅可能性」を（未掲載）	
藤本一昭	職員をカスハラから守れ	11
	職員の法務研修の充実を（未掲載）	
内橋志郎	ダントツ多可町の未来予想図は	
	町有林化事業は（未掲載）	12
	介護保険料の抑制は（未掲載）	
橋尾哲夫	女性防災リーダーの育成を	
	各シニアクラブの強化策は（未掲載）	13
	よろず相談課の設置を（未掲載）	
廣畑幸子	日本酒をはたちのつどいの記念品に	
	「オストメイト」の助成金を（未掲載）	14
	タクシー券の地域格差を見直せ	
門脇保文	地域通貨を導入せよ（未掲載）	
	多可町「消滅の可能性あり」（未掲載）	15
	認知症・共に生きる社会を	
清水俊博	未来を生きる子どもたちへ今「探究」学習は（未掲載）	
	ガルテンの整備を	16
	人間の尊厳に関わる性教育は	
吉田政義	分収育林の主伐後の課題は	
	自転車のヘルメット着用の促進は（未掲載）	15
	跡地活用で地域を活性化せよ	
笹倉政芳	公共施設等再配置計画の進捗は（未掲載）	
	中学校統合 小学校の今後は	16

第127回 臨時会

未来へ 輝くまちづくり

令和6年7月5日に第127回多可町議会臨時会が開催されました。
多可町立統合中学校建設工事請負契約の締結や旧上下水道センター改修工事請負契約の締結、旧農林業公園施設の財産無償貸与、給付金・定額減税一体措置に係る補正予算など6案件が上程され、慎重審査の結果、すべての議案を可決しました。



子どもが真ん中 ー歴史始まる多可中学校ー

**学習環境整備に
思い切った投資**

統合中学校建設工事
50億1050万円
業者名
株式会社ソネット

令和8年4月の開校を目指し町内3中学校を統合し、学びや交流、防災などの必要機能を備えた多可町立統合中学校を建設します。

Q 町の負担金はいくらになりますか。
A 国庫補助金が約16億円弱あります。残りは過疎対策事業債を借り入れます。そのうちの約3割が町の実質負担で約10億円です。

Q 運動場の整備を含め、工期に間に合いますか。

Q 教育の向上を目指す教育委員会の思いは。
A 子どもたちの未来を見据え、学校教育のあり方を考える会などを中心に何回も協議を重ねてきました。統合してよかったと言ってもらえるように、素晴らしい環境のもとで教育の向上に全力で取り組む覚悟です。

Q 耐震は十分ですか。
A 国、県の基準に基づき震度7を想定した構造で、避難所としての機能も果たします。

Q 関係会社と月ごとに行程会議を開きます。工期を確認しながら1日も遅れがないよう監理と指導をします。

Q 地元業者の参入は。
A 工事費の5%以上は地元業者が参加できるようにお願いしています。

賛成討論
匠の技で多可中学校の竣工を
全国的に大型工事の入札が不調になる中、今回、統合中学校の建設工事は株式会社ソネットに決定しました。建設工事では、持ち前の匠の技を存分に発揮し、令和8年1月に見事に完了することを期待します。

反対討論
安易な入札！
入札結果、応募2社のうち1社辞退し、落札率は99・2%でした。競争入札の原理が働いていません。また、耐震強度は震度7までとされていていますが、それ以上の地震が起きたらどうするのですか。

第127回多可町議会臨時会 賛否の公表（全員賛成の議案は除く）

番 号	案 件 名	賛否 賛成 反対	廣畑幸子	藤本一昭	清水俊博	橋尾哲夫	門脇教蔵	笹倉政芳	門脇保文	藤原清勝	内橋志郎	足立吉継	大山由郎	市位裕文	吉田政義	日原茂樹
議案第67号	工事請負契約の締結について （多可町立統合中学校建設工事）	12:1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-

○印は賛成、×印は反対、欠印は欠席。 賛否同数の場合は、日原議長が裁決します。

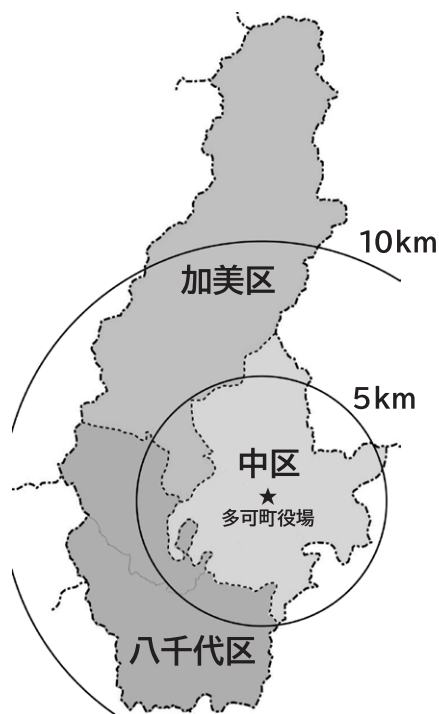


Q. タクシー券の地域格差を見直せ A. 移動実態に即した改善を検討



かどわきやすふみ
門脇保文 議員

Q 多可町では、タクシー券という便利な取り組みをしています。地域によって温度差があるようです。



町長 高齢者や障がい者以外にも、バス停までの距離を要する人への支援策も実施しています。今後は、利便性のさらなる確保ができるよう、自家用有償旅客運送などの地域内交通への取り組みの検討や、福祉タクシー券など移動実態に即した改善を検討します。利用率の向上や移動手段を充足していきま



Q. 女性防災リーダーの育成を A. 女性の活躍が重要



はしおてつお
橋尾哲夫 議員

Q 多可町デジタル田園都市構想第3期総合戦略での防災対策事業として、役場内に女性防災チームを立ち上げました。防災リーダー養成講座を早期に開催し、女性防災リーダーを育成すべきです。



何が必要かしら？ —女性防災講座—

町長 昨年度、役場職員で女性防災チームを立ち上げました。集落役員の中に女性防災委員も加わっています。現在25集落から報告を受けています。2月には女性防災講座を開催し、約50名の参加がありました。今年度は基本団員に女性1名の加入がありました。女性分団の操法大会に参加している市町もあります。消防、防災に関して女性の活躍がますます重要です。

Q. 認知症・共に生きる社会を A. 普及啓発に取り組む



しみずとしひろ
清水俊博 議員



Q 認知症になっても支援を受けながら、自分らしく暮らしていける居場所づくりや予防対策が重要です。認知症への理解促進、さらにはNPOなどの支える側として貢献できるようにすることが大変重要です。



認知症サポーター養成講座

町長 認知症サポーター養成講座で地域の理解を促し普及啓発をします。また活動できる場の提供は、認知症の人が望む活動であるよう寄り添い「チーム」として取り組みます。早期発見で医療機関での受診ができ、症状の進行を抑えることにもなります。はつらつ健診や元気あつぷ広場などで実施する認知症タッチパネル検査など、多くの機会を活用して本人の現状を知ることが大切です。個々に適切な対応をします。

Q. 日本酒をはたちのつどいの記念品に A. 20歳の日本酒ファンを増やす



ひろはたさちこ
廣畑幸子 議員



Q 多可町は平成18年全国の自治体で初めて「日本酒で乾杯の町」宣言をしました。山田錦発祥の町にふさわしい試みも重ねてきました。しかし、コロナ禍の影響などで日本酒の需要が伸び悩み、山田錦農家は大きな打撃を受けました。



田植えて楽しいな

—中区坂本—

町長 日本酒の消費拡大は必要なことです。1月のはたちのつどいで、2月の日本酒フェスタで使える試飲券、引換券を配ればと思っています。自分好みのお酒を見つけてもらって20歳の人にも日本酒ファンになってほしいです。



Q. 分収育林の主伐後の課題は A. 調査・研究をする



よし だ まさよし
吉田政義 議員

Q 分収育林とは杉・檜の人工林を、森林所有者と農林機構が分収育林契約を結びます。そして、伐採するまでの間、機構が所有者に代わって間伐などの森林整備をし、収益を分収する事業です。

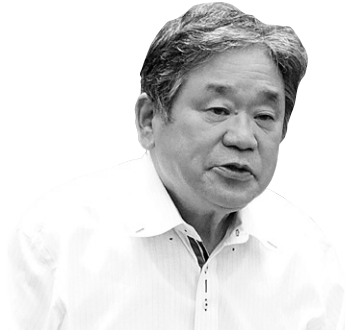
多可町でも主伐を迎える森林があります。主伐後の植林や下刈り、間伐などの森林管理に所有者が意欲喪失などの課題があります。また、森林が荒廃すると山崩れなどの災害が発生します。

町長 町は課題解決に取り組む必要があります。多可町の分収育林・分収造林は1085ヘクタールあります。利益が見込める「伐採林」は主伐・再造林で循環利用をします。搬出条件が悪い「保育林」は人工林と広葉樹林との混成林化します。

県の方向性や他市町の動向も参考に、森林環境譲与税の活用も含め調査・研究をしていきます。



伐採期を迎える杉



Q. ガルテンの整備を A. 対症療法的な対応になる



いち い ひろふみ
市位裕文 議員

Q ガルテン八千代グラウンドの整備が急務です。グラウンドゴルフをされる人から、ガルテン八千代グラウンド周辺の環境整備が必要であると指摘を受けました。

もう一つはトイレです。まだまだ和式が主流で、高齢者の使用が多いことを考えると、洋式に変更すべきです。

また、手洗い場が黒く大変汚れています。早急な整備が必要です。

町長 新たな木々の植栽や東屋の整備は難しいです。熱中症対策は対症療法的な対応になります。

屋外トイレは、ほかの施設も含めて、洋式化や修繕を計画的に進めます。



暑い中頑張っています
ーガルテン八千代ー

Q. 跡地活用で地域を活性化せよ A. 跡地利用の推進体制を構築する



ささくらまさよし
笹倉政芳 議員



跡地利用が望まれる
ー加美・八千代中学校ー

町長 統合中学校が令和8年の春に開校します。中学校がなくなる地域への活性化対策が必要です。しっかりとした体制を組織し跡地活用の協議を早急に開始するべきです。

町長 中学校は各区の中心部に位置し、規模も大きく地域に与える影響も大きいです。貴重な財産と考え、地域の実情やニーズを把握し、地域の活性化に役立つように推進体制を構築し対応します。

建設プロジェクト課長 専門の部署ですので、これまで以上に積極的かつ迅速に業務を遂行します。全国の情報をいち早く入手し、行政と地域が一体となって「地域活性化施設」の実現に努めます。

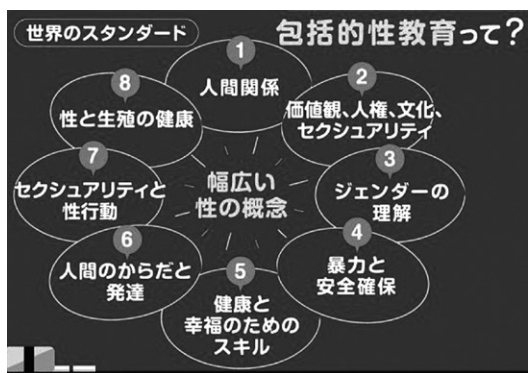
町長 有効活用に至った全国の成功例を見ると、なんといっても地域住民の理解を得ること、誘致業者の地域貢献が大きな力を持っていると思います。

そのことを念頭に進めていただきたい。

Q. 人間の尊厳に関わる性教育は A. 包括的性教育を目指す



ふじわらせいしょう
藤原清勝 議員



出典 東京新聞 2023年11月13日付 朝刊

Q 国連教育科学文化機関ユネスコでは人権教育を基盤に、人間関係も含めた幅広い内容を学ぶ国際的、包括的性教育を提唱しています。人権をベースとした良好な状態、心身ともに健康で持続的に幸福な状態、人間関係を含む幅広い内容を体系的に学ぶ教育であると示されています。

では、多可町の小・中学校教育現場での性教育は、どのような方向を目指していますか。

教育長 小・中学校での性教育をいのちと人権を守る教育の一部分として捉え、児童・生徒は発達段階に応じて保健の時間を中心に学習しています。

さらに命の授業として助産師さんを招き、命の誕生を知り、赤ちゃんに触れ合う学習をしています。中学校では性教育講演会で生徒の実態に応じたテーマを設定し、包括的性教育を目指した取り組みを進めています。

日ごろからの防災が大切

総務まちづくり常任委員会



東日本大震災が体験できる起震車

恐怖を感じる地震体験

令和6年5月9日に、兵庫県広域防災センター（三木市）に視察に行きました。

この施設は平成17年に設置され、兵庫県の防災の中心拠点として整備されています。

本年1月に発災した、能登半島地震を受けて、改めて日ごろの防災が

大切であると認識しました。

はじめに地震体験では、起震車に乗車して震度別での揺れを体験しました。そして、東日本大震災を再現した揺れで恐怖を感じました。

想像以上の揺れ方で立っておられず、床から弾き飛ばされるくらいの揺れで驚きました。

脱出不可能な煙避難

模擬煙（水蒸気）が充満した暗闇の迷路の部屋に一人ずつ入って行き、狭い通路を手探りしながら、暑い中、脱出避難の体験をしました。部屋の中で迷子になり、職員に救助される議員もいました。

これらの体験は、リアルに災害の恐怖を体験できるものでした。

災害に備え物資備蓄

備蓄倉庫の視察では、能登半島地震発災後に直ちに被災地に向けて物資の輸送・提供がなされたとの説明を受けました。

実際に、防災公園内の陸上競技場のバックスタンド下に設置されている備蓄物資・資機材は、即応できる体制を常に確保されていました。



備蓄倉庫

多可町では、必要な備蓄品・資機材を確保しローリングストックを実施しています。

その他、官民の災害時の物資供給などに関する協定で、発災時から支援を受ける体制を取っています。

防災意識を高める

「災害は忘れた頃にやってくる」との言葉があります。

阪神・淡路大震災より来年で30年になります。以来、東日本大震災・熊本地震など大小の地震が頻発しています。地震・風雨土砂災害を中心に災害対策を計画しています。

日ごろから各家庭も3日分の非常食の備蓄、非常持出袋の点検、避難所の確認などが基本です。災害情報の入手には、スマホが便利なので充電器の確保などが必要です。

多可町では、地域防災計画・水防計画を基に、適切な計画と確かな判断が求められます。議会は、減災対策ができるように提言していきます。

未来への一歩

空き家バンクに新たな息吹を

文教ふくし常任委員会

空き家バンク物件と「kaji家」視察

Q どんな空き家が人気ですか。

A 移住者自身でリフォームを手掛ける人も多く、昔ながらの古民家も人気です。

また、賃貸を希望される移住者が多いです。

Q 持ち主から見て、痛みがひどい家でも登録は可能ですか。

A 登録は可能です。いろいろなタイプの家を希望される移住者も多いです。思い切ったご相談ください。



借りたい人が多いみたいです

あなたのチャレンジ待ってます！

中区鍛冶屋の「kaji家」は、県の空き家活用支援事業補助金を利用し、令和5年4月にオープンしました。カフェ＆チャレンジショップ（事業を始めようと考えている人に、低予算で出店ができる店舗スペースを一定期間貸し出すもの）の形態で運営されています。

また簡易宿所営業許可を取得し、民泊施設として稼働しています。平日はお試し暮らしの拠点、土日祝は観光客向けの宿泊施設となっています。

Q チャレンジショップに出店するには、お金がかかりますか。

A 内容によって、1日2500円から5000円かかります。



Q チャレンジショップのこれまでの出店実績は。

A 令和5年度が6事業者15回、今年度は6月時点で4事業者14回で、人気が高まっています。

Q 宿泊者はどんな人が中心ですか。

A 観光客が多いですが、平日は農業体験者が連泊されることもあります。

新しい可能性を

相続した空き家の処分に悩まれている人が多くおられます。今回の視察で、思い切った空き家バンクに登録されるのを勧めたいと強く思いました。

また「kaji家」のようにチャレンジショップなど、地域経済の循環拡大の担い手として、今後多くの古民家が新しい役割を果たすことを期待します。

Q 空き家バンクを利用した移住者の数は増えていますか。

A 過去8年間で132人です。最近は少し落ち着いている状況です。

空き家は資源になる

令和6年6月24日に、今後ますます増加する空き家の利活用の研究を目的に、空き家バンクの3物件と、地域商社RAKUが運営する「kaji家」の宿泊施設へ視察に行きました。

議会だより読者モニター

募集

読者の皆さんからの意見をいただき、紙面の充実に役立てます。

見やすく分かりやすくはもちろん、楽しみに読んでいただける議会だよりを目指します。



応募方法

「申込フォーム」に必要事項をご入力の上、9月30日までに送信してください。電話、FAX、ご持参での応募も受け付けます。議会事務局までお問い合わせください。



議会だより読者モニター
申し込み

議会事務局

電話 0795-32-4775

FAX 0795-32-4969

電子メール gikai@town.taka.lg.jp

個人情報の取り扱い

読者モニターへのご応募や、モニターとしての活動を通じてご提供いただいた個人情報は、読者モニター制度に必要な範囲内でのみ利用します。また、その管理や利用にあたっては、個人情報の保護に関する法律に従い取り扱いに注意を払います。



募集期間 令和6年8月1日～9月30日まで

募集者数 6人程度

応募資格 町内に居住する、満18歳以上の人で、議会だよりに関心がある人。

選考 10月中旬までにお知らせします。

モニターの仕事

1. 議会だよりに関する意見をいただきます。
2. 読者モニター会議（年1回程度）に出席していただきます。

モニターへの謝礼

読者モニター会議などへの出席に応じて、年間2000円をお支払いします。



今回の表紙

酒米の最高峰である山田錦を「山田錦発祥の町」から全国に発信する中区坂本での田植えの一コマです。
現在、何世代にもわたり育まれてきた文化ともいえる、伝統的な山田錦生産地域を「日本農業遺産」認定に向けて北播磨で取り組んでいます。

編集後記

「夏」から連想されることは何でしょうか？

私は、蝉の声です。

場所は神社の境内。

ブランコの揺れる音

に合わせて、蝉が一斉

に鳴き出します。

二つ目は「盆踊り」

です。夕暮れ時に、う

ちわをくれた近所のお

じさん。優しい顔がく

つきりと表れてきます。

三つ目は「お墓参り」

です。お線香の匂いが

します。命を頂いたご

先祖さまに、深謝。

さて、なにを連想さ

せる言葉を残してくれ

るのでしょうか？

令和6年の夏は。

(内橋)

議会広報編集特別委員会

委員長 廣畑幸子

副委員長 内橋志郎

委員 藤本一昭

委員 笹倉政芳

委員 藤原清勝

委員 足立吉繼

議長 日原茂樹

発行 / 多可町議会 編集 / 議会広報編集特別委員会

兵庫県多可郡多可町中区中村町123 TEL 0795-32-4775 FAX 0795-32-4969

多可町議会ホームページ / https://www.town.taka.lg.jp/takacho_gikai/

UD
FONT